MEGURO-CITY

特集：目黒今昔物語

**○今：メグロエンペラー・ドゥエ→
昔：メグロエンペラー(ラブホテル)**

かつてサカリネコたちのラブホだったメグロエンペラーは、CATTY&Co.の不動産部門に買収され、瀟洒なレジデンスに改装された。CATTY＆Co.がVIP待遇をほどこすゲストだけが使用を許されている。TAMALAがこのレジデンスのペントハウスの住人であることからも、いかにCATTY&Co.が彼女を必要(なかば恐れている)かわかるだろう。ドールハウス風に内装を施されたサイケデリックな部屋は、TAMALAのための特別仕様。
なぜかときどき天井のシャンデリアが落ちる。

○今も昔も変わらない「食堂ちんちら」

権之助坂にある食堂「ちんちら」は、10年たっても変わらない。白地に染められた暖簾の文字の爽やかさも不滅である。さらに驚きなのは、メニューも10年間不変であることだ。さんまの煮付け定食、さんま干し定食、定番、さんまの塩焼き定食はもちろん、あの鰹節ネコマンマも今も昔も大人気のメニュー。店主によれば、「ニャニオー、10年やそこらでMEGUROネコの心意気が変わってたまるけー」とインタビューに逆毛を立てて毒づいていた。

2010年現在の食堂「ちんちら」

**○今：絶滅動物ミュージアム(2号館)→
昔：寄生虫博物館**

Q星のHATE郡にある「絶滅動物ミュージアム」の2号館がネコ地球MEGURO-CITYに誕生したのは2007年。それ以前は「寄生虫博物館」として長い歴史を誇っていた建物を、外観をQ星のものとそっくりに改築された。収蔵品に人間をモチーフにした絵画やオブジェが多いのが特徴。Q星において人間はすでに絶滅種としての認定が行われているが、ネコ地球ではまだ査定審問中。レアものは人間のタトゥ皮のホルマリン付け標本。
(水曜定休、入場無料)

**○今：パーソナルエアポート→
昔：自然教育園**

TAMALAも利用するSHIROGANE美術館となりの小型宇宙船用のパーソナルエアポートは、かつては都会の中心にあって緑豊かな「自然教育園」だった。宇宙船専用の空港建設がこの場所に決まったのは2006年。この地に生息するめずらしい動植物を守ろうと大規模な反対運動が持ち上がったが、CATTY&Co.都市開発の強大な発言権のまえにネコ市民運動は一瞬にして鎮圧された。

**○TOPICS：FIGARO JAPON
(for NEKO)**

権之助坂を下りた脇道にあるFIGARO JAPON(for NEKO)編集部。おしゃれネコたちのファッション＆カルチャー心をくすぐってやまない高感度マガジンだ。先日、近所に住むTAMALAが編集部に呼ばれ、映画初出演をテーマにインタビューを受けた。その内容は10月5日発売号に掲載される予定。
Check it out！

**○メグロガジョイン(経営再建中)→
昔：メグロガジョイン**

メグロガジョインは結婚式場を備えた品のよいホテルであったが、ネコ婚姻制度の廃止にともなう披露宴需要の激減が経営におおきな打撃を与えた。現在、CATTY&Co.の資本参加が決定し、2011年春に"キャッと驚く大リニューアル"が予定されているがその内容は謎に包まれている。

**○今も昔も変わらない
「目黒のさんま祭り」**

気仙沼から空輸した5000匹の秋刀魚が一斉に七輪であぶられ、MEGURO中がもうもうとした煙に包まれる祝祭的な一日。通行ネコたちのヨダレが街路をぬらすほどの食の祭典である。本誌は8年前の2002年、TAMALAがこの祭りにアイドルとして参加したという記録を入手した。

インタビューを受けるTAMALAさん。
あいかわらず偉そうでした

1869年、メグロガジョイン南1階売店で売られていたという
美猫シリーズマッチ

「目黒のさんま祭り」にTAMALAが特別参加したときの
ポスター(2002年9月)

CATTY&Co.　go to HELL with me